



がんシンポジウムを開催しました。

当院では地域がん診療連携拠点病院として地域のがん診療の充実を目指し、医療従事者を対象として定期的に「がんシンポジウム」を開催しています。

平成30年11月1日(木)に開催した「第5回がんシンポジウム」では、松戸市立総合医療センターでのがん治療における医師以外の職種の多大なる貢献をテーマに講演を行いました。今月号では当日行われた講演の概要を紹介します。



院外からも多数ご参加いただきました。

◆当院におけるがん診療の全容と医師とメディカルスタッフの役割

化学療法内科部長 五月女 隆

近年がん診療の進歩に伴い診療行為は多様化しています。いつの時代も医師・歯科医師の最低限の業務としては、①診療行為として、身体に強い侵襲を加える②使用する薬剤を決定する(処方箋)③がんの診断、治療法を開発し確立する④(統括責任者として)声をかけ、安心してもらうという4つの項目が挙げられます。つまり、この4項目以外に関しては、チームとして共通の理解を持ったメディカルスタッフが、がん診療に関わる業務を担うことができます。当院のがん診療の現場で活躍している4人のスタッフから実際の活動について報告しました。

◆がん相談支援センターについて

がん相談支援センター医療ソーシャルワーカー 矢野 麻衣子

がん相談支援センターとは、全国の「がん診療連携拠点病院」に設置されているがんに関する相談窓口の総称です。患者さんやご家族、地域の方々はどなたでも無料で利用でき、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて面談や電話で相談ができます。お話の中からお希望や状況を踏まえて、利用できる制度及び社会資源の情報提供、関係機関との連絡調整等を行いながら、患者さんが望む療養生活ができるよう支援しています。相談してみよう・知りたい・つながりたいと思ったときに気軽に利用できるよう、さらに相談支援センターからの情報発信や相談支援体制の強化にも取り組んでいきたいと考えています。

他にも患者サロンの運営(がん患者・家族の「集いの場」、オストメイトの集い)やアピアランス支援(治療に伴う外見の変化についての悩みや不安への支援)等を行っておりますので、希望される患者さん、ご家族の方に、ぜひご案内ください。

当院のがん相談支援センターの体制

- 部署名: がん診療対策室(がん相談支援センター)
- 場所: 正面玄関から左奥、1階6番窓口
- 時間: 平日8:30から17:00まで
(面談・電話相談のみ。)
- 職員: MSW2名
- 連絡先: **047-712-2511**(代表)
音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの「6」を押し、がん診療対策室までご連絡ください。

◆当院の乳がん診療と乳がん患者への支援について

乳がん看護認定看護師 小森谷 理香

当院の乳がん診療は、主に乳腺外科、化学療法内科、放射線科で行われています。2012年度から乳がん看護認定看護師として乳がん患者さんへの看護を実践しています。2015年度からがん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師とがん患者指導管理料を算定する看護指導・面談を開始しました。この看護指導・面談では、さまざまな治療過程にある患者さんの支援を行っています。

乳がん患者さんの治療期間は長く、患者さんそれぞれが抱える不安や気持ちは多岐にわたっています。そのため多職種と協働した支援が必要なケースが多くあります。今後も多職種と協働したチーム医療を推進し、患者さん支援の充実に努めていきたいと考えます。

◆当院での WOC ナースのがん患者への介入 ～ストーマ外来の役割～

皮膚・排泄ケア認定看護師 吉原 宗与

大腸がん罹患する人の増加に伴い、ストーマを造設する方も増加しています。ストーマを造設するということは、排泄経路変更に伴うボディイメージの変化や排泄のコントロール機能の喪失など精神的衝撃は強いものです。

ストーマを造設した方が、身体的、心理的、社会的な適応ができ、QOLを維持していくことができるようサポートしていくためにストーマ外来があります。ストーマ外来では、ストーマ合併症などのトラブル時は、専門的な知識に基づく技術や知識を提供し、症状の改善や自己管理の支援を行っています。また、訪問看護ステーションと連携して、在宅でも安心、安楽、安全に過ごせるよう支援しています。

◆がん診療に対する薬剤師の関わり

薬剤師 一色 靖洋

適正な抗がん剤治療を行うために、投与量や投与スケジュール、支持療法などを定めた『レジメン』の妥当性を院内の化学療法委員会で協議し登録しています。レジメンに従いオーダー内容を確認するとともに、過去の副作用の状況や当日の検査値なども確認し、安全な治療に貢献しています。また、環境曝露に留意した対策として、安全キャビネットと閉鎖式器具を使用した抗がん剤調製を行っています。

患者さんや院外の医療機関への情報提供については、薬剤師外来でのお薬説明の予約システムの改善や、治療スケジュールを記載したお薬説明書の改訂、投薬内容を記載したお薬手帳用シールの提供の開始、ホームページ上に採用レジメンの掲載等を行いました。

また他院や保険調剤薬局等と研修会等の薬々連携を行い情報共有することで、シームレスながん治療を提供できるよう努めています。